

ビューマジック立体方式 立体メガネ

## 3D-ViewREX 取扱説明書

### 1 . ビューマジック立体方式について

本方式は、図1に示されるとおり、立体画像の左右両画面を上下に並べて構成した本方式立体画面を、通常のディスプレイ画面上に表示し、これを専用立体メガネ「3D-ViewREX」を通して見ることにより、両画面を重ね合わせた立体映像として観測、立体視するものです。従って、本立体メガネ3D-ViewREX さえあれば、従来のあらゆるディスプレイ画面上で、横に広がりのあるワイド画面での立体視が可能になります。

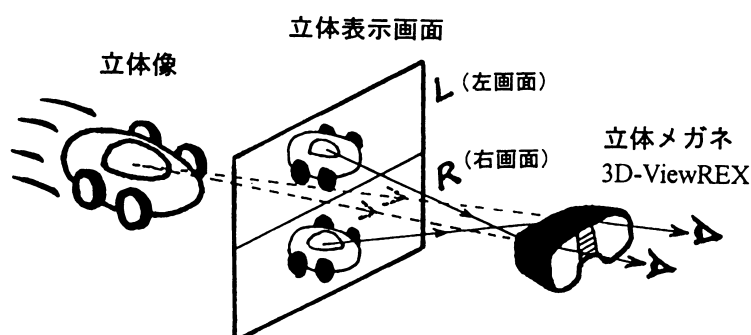


図1

### 2 . 3D-ViewREX の使用法

#### 1) 立体表示画面サイズとメガネの立体観測距離

本メガネは、ディスプレイ上での立体表示画面の大きさ（縦方向の寸法）に対応し、表1で示されるような、この縦画面サイズに比例した立体観測距離を置いて表示画面を観測します。

これにより、立体表示画面上に縦に並べられた左右両画面が、本メガネを通しちょうど重なり合っ

て観測され、立体視が出来ます。

表1

縦画面サイズ（縦方向の寸法）	8 cm	1 6 cm	2 4 cm	3 2 cm
立体観測距離	2 5 cm	5 0 cm	7 5 cm	1 0 0 cm

#### 2) 立体観測距離の調整

立体視する観測距離の設定は、メガネで表示画面を見ながら合わせる事が出来ます。具体的には、本メガネをかけた状態で、先ず、左眼のみを開き左画面（上側の画面）を見て、この画面の縦幅がメガネの窓枠の縦幅にちょうど一杯に入って見えるように、見る位置を前後して、表示画面からの概略の距離を設定します。（図2-1）

次に、この状態で右眼も開くと、右画面（下側の画面）が左画面に重なって見えます。このとき、図2-2のように図の中で点線で示された右画面が、実線で示された左画面より上にズレ

ている場合は、距離が遠すぎる状態です。この場合には、メガネを表示画面に近づけることによりズレが小さくなり、最終的には図2-4に示されるように両画面が一致し、立体視が可能な位置（距離）が設定出来ます。逆に、図2-3のように右画面が左画面より下にズれているのは近すぎる状態であり、この場合はメガネを表示画面から逆に遠ざけることにより、同様に両画面の一致する位置を得ることが出来ます。

このようにして、メガネ位置を前後に動かし調整して、両画面の一致する位置を決めることにより、立体視が実現できます。

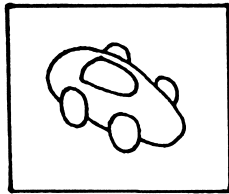


図 2-1

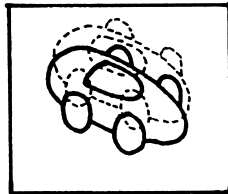


図 2-2

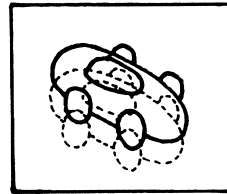


図 2-3

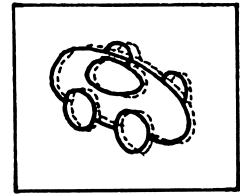


図 2-4

### 3) 左右画面ズレの注意

本メガネは水平に（両眼と平行に）保つ必要があります。水平であればメガネ左右画面の高さが一致しています。メガネが斜めになると左右画面が斜め上下にずれてしまうので、メガネが斜めにならないように、装着時に水平に設定して下さい。画面の横方向へのズレはかまいません。

### 4) ハネ上げ機構（Flip Up Frame）

本メガネフレームはハネ上げ機構を備えており、立体視しない時には、本メガネをかけたままメガネをハネ上げておくことができます。

## 3. 使用上の注意事項

- 1) 本メガネは機能調整組付けがなされているので、絶対に分解しないで下さい。
- 2) レンズは光学プラスチックで傷つきやすいため、汚れはメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭き取って下さい。汚れが多い時は、水を少し含んだ柔らかい布で同様に軽く拭いて下さい。キズや破損の原因になりますので、強く押ししたりこすったりしないで下さい。また、シンナー、ベンジン、など揮発性のものは絶対用いないで下さい。
- 3) 長時間の連続使用はしないで下さい。特に、眼の疲労など身体に異常を感じるような場合は、使用を中止して下さい。
- 4) 本メガネは、暖房機のそばなど高温の場所に放置しないで下さい。
- 5) 本製品は、納入時に輸送等で万一破損不良が生じた場合は交換いたします。それ以上の対応は致しかねます。

株式会社ビューマジック

〒223-0053 横浜市港北区綱島西5 - 2 1 - 2 9

TEL; 045-543-0467 FAX; 045-543-0467